

用語の説明

No	用語	説明
1	A E D	Automated External Defibrillator：自動体外式除細動器。心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。
2	C C U	Coronary Care Unit:冠疾患集中治療室。主に急性心筋梗塞等の冠状動脈疾患の急性危機状態の患者を収容し、嚴重な監視モニター下で持続的に管理する治療室。
3	C T	Computed Tomography：コンピューター断層撮影。人体のある断面を映像化し、病変などを検査する装置。
4	C Tシミュレーター	放射線治療を実施する前に最適な照射範囲や方向を決め、治療計画を作成する際、照射範囲や位置を決定するのに使用される装置。
5	D M A T	Disaster Medical Assistance Teams:大地震及び航空機・列車事故といった災害時に被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム。
6	D P C（診断群分類包括評価）	Diagnosis Procedure Combination:入院患者の診療報酬額について、従来の出来高払いではなく、診断群分類に従った定額払いをする包括評価制度。患者が該当する診断群分類(DPC)の点数に入院日数と病院ごとの係数を乗じて算定する診療報酬点数に、出来高部分の点数を加えたものが、その患者の入院医療費となる。この計算方式が適用されるのは、入院基本料や検査、投薬、注射、画像診断などで、手術、高額な処置、リハビリテーションなど技術料部分は、従来通りの出来高払い方式が適用される。
7	H E P Aフィルター	High Efficiency Particulate Air Filter:高い清浄度を保つクリーンルーム用の超高性能フィルター。
8	I A B P（大動脈内バルーンポンピング）	Intra-aortic Balloon Pumping：バルーンカテーテルを患者の胸部下行大動脈に留置し、心臓の圧補助を行う補助循環装置。
9	I C D 1 0大分類	International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems(ICD)：「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」。異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関(WHO)が作成した分類。
10	I C U	Intensive Care Unit:重症患者を収容・管理し集中的に治療を行う部門、集中治療室。

No	用語	説明
11	IP電話	Internet Protocol 電話:インターネット網を利用した電話。なお院内における IP 電話は情報セキュリティの観点からインターネットは介さず、電子カルテネットワーク網を利用しての院内電話を意味する。
12	LDR室	Labor Delivery Recovery 室:陣痛、分娩、回復を1つの室で行うことができるようにした室。
13	MDC	Major Diagnostic Category:DPC 傷病名分類を大きく16種類にまとめたもの。
14	ME機器	Medical Engineering:医用工学(ME)を応用して開発された機器。人工呼吸器、高圧治療装置、人工心肺装置、血液浄化装置など多種多様な医療機器。
15	MRI	Magnetic Resonance Imaging:核磁気共鳴の物理現象を応用して、人体の断層撮影や含有物質の同定を行う方法。また、その装置。磁気共鳴映像法。
16	NICU	Neonatal Intensive Care Unit:新生児特定集中治療室の略。新生児の治療に必要な保育器、人工呼吸器等を備え、24時間体制で集中治療が必要な新生児のための治療室。
17	NST	Nutrition Support Team:栄養サポートチームの略。栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施することを意味し、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などの多職種で実践するチーム。
18	PACS (医用画像情報システム)	Picture Archiving and Communication System:画像を電子保存し、オンラインで配信するシステム。
19	PCPS (経皮的心肺補助法)	Percutaneous Cardiopulmonary Support:一般的に遠心ポンプと膜型人工肺を用いた閉鎖回路の人工心肺装置により、大腿動静脈経由で心肺補助を行うもの。
20	PHS	Personal Handyphone System:簡易型小型無線電話。
21	RI検査	Radio Isotope:核医学検査のこと。被検体内に放射性同位元素(RI)で標識した薬剤を投与し、RIから放出されるガンマ線を体外から測定することで体内RI分布を画像化する検査。
22	RIS (放射線部門情報システム)	Radiology Information System:主に放射線機器による検査と治療の予約から検査結果までの管理を行うシステム。
23	SPD	Supply Processing & Distribution:物品(診療材料や薬品等)の標準化や物流・業務の効率化を図ることにより、購買管理・在庫管理・搬送管理・消費管理等を一元管理する物流管理システム。

No	用語	説明
24	SPECT (ガンマ・カメラ)	Single Photon Emission Computed Tomography:微量の放射線 (ガンマ線) を放出する放射線元素を含んだ薬剤を静脈注射し、ガンマ・カメラにより検出した薬剤の濃度分布をコンピューター処理により画像化する装置。
25	アメニティ	患者にとって、居心地の良い快適な療養環境や院内環境。
26	インシデントレポート	医療現場で、患者に傷害を及ぼすことはなかったが、日常診療の現場でひやりとしたり、はっとしたりした経験 (インシデント) に関する報告書。事例を分析し、類似するインシデントの再発や、医療事故・医療過誤の発生を未然に防止することが主な目的。
27	一般病床	病床の種別の一つ。精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいい、主として急性期の患者を入院させるためのもの。
28	医薬品情報 (DI) 室	Drug Information:薬に関する多くの情報を収集・整理し、医療関係者や患者等に対しそれぞれの立場にたって最も必要な情報を提供する業務を行う室。副作用の防止など、薬が安全かつ最適に使用されるために重要な役割を果たす。
29	医療情報システム	電子カルテシステムやオーダーリングシステム及びそれらのシステムと接続する院内各部門システム、並びに電子カルテシステムやオーダーリングシステム及び各部門システムに接続する診療科等の各部署の接続機器の総称。
30	院内標榜科	医療法第6条の6第1項及び医療法施行令第3条の2に規定する標榜科目以外の診療科名を院内においてのみ標榜する科目。
31	オーダーリングシステム	検査・処方などに関する情報伝達システム。医療現場の一部業務を電子化し、病院業務の省力化と、サービス提供の短縮化を目指すもの。
32	オンコール	自宅等に待機することにより、緊急時に呼び出せる状況になっていること。
33	介護予防	要介護状態若しくは要支援状態となることの予防又は要介護状態若しくは要支援状態の軽減若しくは悪化の防止をいう。
34	回復期	主に急性疾患において、発症間もない病状の不安定な時期を過ぎて安定している、あるいは緩やかに快方に向かっている時期。
35	回復期リハビリテーション病床	回復期リハビリテーション病棟の病床で、寝たきりの防止と在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病床。リハビリテーション科を標榜していることや専従の医師、理学療法士、作業療法士を配置している等の基準がある。

No	用語	説明
36	外来化学療法	主に抗がん剤の投与によるがん治療を、入院せずに外来で通院しながら行えるようにした療法。
37	かかりつけ医	身近な地域で患者の体調や病歴を把握し、診療行為だけでなく健康の相談や症状等により専門医の紹介を行う医師。
38	カバー率係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価するもの。
39	看護体制	看護配置基準の1つ。入院患者と看護職員の比率により定められる基準。例 7:1看護体制、10:1看護体制等。
40	看護単位	病院の看護体制を形成する一要素で、看護の機能を管理する目的で、看護の対象と看護要員を区分する単位。
41	感染症病床	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)に規定する一類感染症、二類感染症(結核を除く)、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症並びに新感染症の患者を入院させるための病床。
42	カンファレンス	主に患者についての問題点の討議、検討、治療方針や看護方針を立て、実践評価を行うこと。
43	基準病床数	医療法第30条の4第2項第12号に規定された、病床の適正配置や適正な入院医療の確保を目的とした病床数。一般病床及び療養病床については二次保健医療圏別に、精神病床、結核病床、感染症病床については三次保健医療圏別に定められている。
44	逆紹介(逆紹介率)	地域の開業医がいわゆる「病院」に患者を紹介するのは逆に、病院の方から症状の安定した患者を開業医に患者を紹介すること。逆紹介率とは、紹介された患者のうち、紹介医療機関のもとに返した患者の比率。
45	救急医療係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。救急医療の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価
46	救急告示病院	病院の開設者からの申し出により、都道府県知事が当該地域の状況及び病院の要件等を勘案して認定・告示された病院。主な要件として、救急医療に関する技量を有する医師が常時診療に従事し、救急医療を行うための施設・設備を有する。また、患者搬送に容易な場所にあり、患者搬入に適した構造を有し、救急患者のための専用病床又は優先使用病床を有する。
47	救護病院	市町が指定する医療救護施設。災害による負傷者を主な対象者とし、中等症、重症患者の受入れ、重症患者の災害拠点病院への搬送及び広域搬送への対応を行う。

No	用語	説明
48	急性期	急性疾患や慢性疾患の急性増悪で、病状が安定しておらず、高度の医療設備、多くのスタッフによる医療行為や全身管理が必要な時期。
49	急性期医療	病気になって直後の時期(通常、発症から7日間程度)における医療。この時期には人的、物的に集中した医療行為が行われ、高度の医療設備、多くのスタッフが必要となり全身管理が必要となる。
50	クックチル方式	調理方法の一つで、加熱調理した食品を短時間に急速冷却して、チルド保存し、必要な時に再加熱する方式。
51	軽症・中等症・重症・死亡	総務省消防庁が示す症状、区分の内容。軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。中等症とは、傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。重症とは、傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの。死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。
52	結核病床	結核の患者を入院させるための病床。
53	血管撮影装置	血管に造影剤を注入し、血管を写し出し病変の有無を調べたり、治療を行ったりするためのX線撮影装置。
54	構造体の耐震安全性の目標分類Ⅰ類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるもの。
55	後発医薬品係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。入院医療における後発医薬品の使用を評価するもの。
56	効率性係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。各医療機関における在院日数短縮の努力を評価するもの。
57	高齢化率	65歳以上の人口の全人口に占める割合。
58	災害拠点病院	災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度の診療機能、被災地からの重症傷病者の受入れ機能、傷病者等の受入れおよび搬出を行う広域搬送への対応機能、自己完結型の医療救護チームの派遣機能、地域の医療機関への応急用資器材の貸出し機能を有し、災害時の拠点となる病院。
59	サテライトファーマシー	主となる薬剤部から離れて、病棟内に存在する薬局。医師や看護師と協力し患者に適切な薬物療法が行われることを目的とする。
60	第三次救急医療機関	第二次救急では対応できない複数診療科領域にわたる重症救急患者に対して高度専門的な医療を総合的に提供する医療機関。

No	用語	説明
61	静岡県地域がん診療連携推進病院	国が指定する「がん診療連携拠点病院」とほぼ同等の医療機能、専門医等を配置している、静岡県知事が指定する病院。
62	静岡DMAT指定病院	平成18年4月7日付け厚生労働省医政局指導課長通知「日本DMAT活動要領について(通知)」に基づき県が指定するDMAT指定医療機関。
63	志太榛原二次保健医療圏	静岡県地域医療再生計画に定める保健医療圏で、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町を構成市町とする。
64	周産期医療	妊娠後期から新生児早期(妊娠22週から出生後7日目)までのお産にまつわる時期に母体、胎児、新生児を総合的に管理して母と子の健康を守る医療。
65	受療率	ある特定の日に疾病治療のために、すべての医療施設に入院あるいは通院、又は往診を受けた患者数と人口10万人との比率。
66	紹介(紹介率)	地域の開業医が、高度な医療や検査を必要とする患者を病院に紹介すること。 紹介率は、診療報酬点数表(一般病院の場合)において、(他医療機関からの紹介患者数+救急車で搬送された患者)/初診患者全体×100と定義される。初診患者の数は、時間外・休日又は深夜に受診した6歳未満の小児患者を除く。
67	初期救急医療体制	軽症で帰宅できるような救急患者への医療体制。
68	初期被ばく医療機関	原子力施設近隣において汚染の有無にかかわらず搬送されてきた患者に対して一般の救急診療の対象となる傷病への対応を含む初期診療を行う医療機関。
69	褥瘡	床ずれ。
70	診療報酬改定	医療機関等が提供した医療サービスに対する対価として支払われる報酬を、医療行為別に点数(1点=10円)として定められており、概ね2年に1度行われる改定。
71	スマートフォン	次世代携帯電話。電話機能のほかにアプリと呼ばれるプログラムを動かして、パーソナルコンピューター並みの機能を有する。
72	セカンドオピニオン	患者が検査や治療を受けるに当たり、主治医以外の医師に意見を求めること。複数の専門家の意見を聞くことで、より適した治療法を患者自身が選択していくべきという考え方に沿ったもの。
73	第三次救急医療機関	第二次救急では対応できない複数診療科領域にわたる重症救急患者に対して高度専門的な医療を総合的に提供する医療機関。

No	用語	説明
74	第二次救急医療機関	入院及び手術等を必要とする救急患者への医療提供を行う医療機関。
75	第二種感染症指定病院	二類感染症、新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院。
76	地域医療支援病院	紹介患者に対する医療の提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医等を支援する能力を備えることを、都道府県知事が承認する病院。
77	地域医療係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。地域医療への貢献を評価するもの。
78	保健医療計画	都道府県が二次保健医療圏ごとに作成する、地域特性に応じた保健医療の基本的な指針や保健医療提供体制の整備に関する基本計画。
79	中央配膳	主厨房で調理・盛り付けをし、病棟へ運ぶ配膳方法。
80	デイルーム	談話室。
81	電子カルテ	従来医師・歯科医師が診療の経過を記入していた紙カルテを電子的なシステムに置き換え、電子情報として一括してカルテを編集・管理し、データベースに記録するシステム。
82	登録医	患者の紹介、逆紹介や開放型病床の利用による共同診療などで、病院と連携を図り、患者に一連の継続した医療を提供できるように協力体制を組んでいる地域の医師。
83	ドクターヘリ	救急医療用の医療機器等を装備した専用ヘリコプター。救急医療の専門医及び看護師が同乗し、現場等から医療機関に搬送するまでの間、救命医療を行うことができる。
84	トリアージ	災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、適切な搬送、治療を行うために、傷病の緊急度や程度に応じて優先順位をつけること。
85	バイオセーフティーレベル	細菌・ウイルスなどを取り扱う実験施設の分類。
86	病床利用率	ベッドの利用の程度を示す指標。 病床利用率(%)=入院患者延数÷許可病床延数×100。
87	病診連携	かかりつけの診療所の医師と病院の医師が連携して診療を行うこと。精密検査や入院が必要な場合は病院へ紹介が行われ、入院治療が必要なくなった場合、病院から診療所へ紹介することにより、双方の医師が連携しながら治療すること。
88	病病連携	病院間で連携して治療を行うこと。急性期病院、療養型病院などの各病院の特性と病状に応じた医療の提供ができるように病院間で行う連携。

No	用語	説明
89	複雑性係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。各医療機関における患者構成の差を1入院あたり点数で評価するもの。
90	フリーアドレス制	特殊な設備を保有する診療科を除き、診療科毎に診察室を特定しないで、患者数や医師数に応じて診察室を振り分け、診察室を効率的に使用する方法。
91	ブロック受付	外来の受付形態の一つで、内科系や外科系、小児科と産婦人科など、関連性のある診療科の診察室をそれぞれひとまとまりのブロック単位にまとめ、そのブロックごとの受付。
92	平均在院日数	患者が入院してから退院するまでの日数を一定の期間で平均したもの。
93	へき地医療	交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地、離島その他の地域のうち、医療の確保が困難である地域で行われる医療。無医地区、無医地区に準じる地区、へき地診療所が開設されている地区等が含まれる。
94	放射線治療	X線やガンマ線、電子線などの電磁波をがん細胞へ照射することによって、がん細胞を死滅させる治療方法。近年では陽子や炭素の原子核を治療に用いることも可能となり、それぞれ「陽子線治療」、「重粒子線治療」とよばれている。
95	保健医療圏	保健・医療・福祉の連携と施策の効果的な展開を図る地域単位。限られた医療資源の適正な配置と機能連携を図り、医療提供体制の充実を推進するための地域単位として、自然的条件及び社会的条件も踏まえ保健医療圏を設定する。また、二次保健医療圏は医療法第30条の3第2項第1号の規定に基づき主として病院の病床の整備を図る地域単位として設定され、療養病床及び一般病床の基準病床数を設定する。
96	保険診療係数	機能評価係数Ⅱにおける評価指標の1つ。DPCデータの提出を含めた適切な保険診療実施・取組を評価
97	マンモグラフィ	乳房のX線撮影装置。
98	有機溶媒	水に溶けない物質を溶かす、常温常圧で液体の有機化合物の総称。エタノール、ベンゼン、アセトン、クロロホルムなど。有機溶剤。
99	ライナック	放射線治療用のX線や電子線を発生させる直線加速器。
100	ライフサイクルコスト	製品や建物に係る生涯コストのこと。製品や建物の企画・設計に始まり、完成(竣工)、運用を経て、寿命がきて処分するまでを製品(建物)の生涯と定義して、その全期間に要する費用を意味する。

No	用語	説明
101	リカバリー室	術後、麻酔から覚醒し、呼吸・脈拍・血圧等が安定回復するまで、患者を観察する室。
102	療養病床	精神病床、感染症病床、結核病床以外の病床で、主に長期にわたり、療養を必要とする患者を入院させるための病床。

新市立島田市民病院
建設基本計画

市立島田市民病院 病院建設推進課
〒427-8502 島田市野田 1200 番地の5
TEL 0547-35-2111 FAX 0547-36-9155